2023年6月 VOL.33



小林勝哉

社会保険労務士事務所

事務所通信と最新情報



本号の内容

デジタル人材のリスキングと ポータブルスキルの獲得を

自己理解を深めよう

子育でを 社会全体で支援する時代に

デジタル人材のリスキングと ポータブルスキルの獲得を

人材競争力を高めよう

企業活動においてデジタル化の推進を考えている 企業の割合は63.1%と、デジタル化の波は大きく 企業活動を変えようとしています。一人一人がD リスキリングを行いより生産性の高い人材に成長 していくことが、人材競争力を高めていくことに つながる時代に入ったとも言えます。

また、厚生労働省では労働市場の流動化や兼業・ 副業の取り組みが進む中で、社員一人一人が人材 競争力を高めていくにあたっては、職種の専門性 以外に業種や職種が変わっても持ち運びができる 職務遂行上のスキルである「ポータブルスキル」 を高めていくことが重要だとしています。

これからの企業に求められるデジタル人材の育成 へ、リスキングとポータブルスキルの獲得プログ ラムの構築を、ご一緒に進めてまいりましょう。 2023年6月 VOL.33



子育でを 社会全体で支援する時代に

経済財政運営と改革の基本方針2023が閣議決定されました

2023年4月から、どの病院でも安心して出産できるよう、出産育児一時金の金額が大幅に引き上げられ、申請すると原則50万円を受け取ることができるようになりました。

出産育児一時金の財源は、これまで74歳未満の 現役世代で補う仕組みでしたが、今回の増額では 2024年4月から後期高齢者医療の保険料に上乗せ する形で、75歳以上の人たちから一時金の7%を 財源として拠出してもらうことになりました。 これにより子育てを社会全体で支援する形となっ たわけです。

2003年6月、「経済財政運営と改革の基本方針 2023」(骨太方針2023)が、経済財政諮問会議 での答申を経て閣議決定されましたが、これから 少子化対策・こども政策の抜本強化が実行される にあたり、税金と保険料のバランスなど、財源の 動向が生活に大きく影響してくる時代に入りまし た。

自己理解を深めよう

社会や職場の環境変化に伴い自分自身の役割も大きく変化が求められる時代にあって、キャリア形成とは「職業経験や人生のなかで継続して経験を積むプロセス」であるといえます。

これからは、一人一人が役割の認識を 新たにし、自分の生き方を考えていく ことが大切な時代に入りました。

当事務所の「100年キャリアアドバイザー」®とご一緒に、素敵なキャリアを発見していきましょう。





小 林 勝 哉 社会保険労務士事務所

〒162-0837

東京都新宿区納戸町33 東京左官会館3階

TEL: 03-6228-1336 FAX: 03-3269-2737

